

2012年度の鉄鋼需要の動向について

平成23年12月20日
一般社団法人 日本鉄鋼連盟

2012年度の日本経済は公共投資が下支え

- 2011年度の日本経済は、東日本大震災による供給網の寸断から、一時的に生産活動は大きく落ち込んだものの、その後の早期復旧から回復軌道を辿った。しかし、年央以降の欧州債務問題の深刻化、急激な円高の進行、アジア経済の減速等から外需が減速しており、足下の回復速度は緩やかなものとなっている。
- 2012年度は、補正予算の執行による復興需要の顕在化に加え、減少が続いていた設備投資も回復に転じる等、内需の緩やかな回復が持続すると見込まれ、外需環境の回復時期・度合が注目される。

2012年度の粗鋼生産は1億トン台を維持も前年度水準を下回る見通し

- 2011年度は、震災の影響から一時的に落ち込んだ鉄鋼国内需要が概ね順調に回復してきたが、円高の継続、アジア経済減速懸念、鉄鋼生産能力急増によるアジア鉄鋼市場の需給緩和等から、足下、鉄鋼輸出環境は不透明感が高まっている。こうした内外需要環境から、2011年度の粗鋼生産は前年度実績を下回る1億500～600万トン程度に止まる見込み。
- 2012年度の国内鉄鋼需要は、復興需要や住宅・設備投資の回復等から建設分野で増加が見込まれるものの、製造業では海外経済の不透明感、円高の定着による輸出の停滞等から、前年度を下回る見込みで、全体でも前年度を若干下回ると予想される。
- 全鉄鋼輸出は、アジア新興国を中心に鉄鋼需要の持続的成長が期待されるなか、先進国の景気後退回避、アジア鉄鋼市場の回復等を想定すれば、2012年度は前年度並の4千万トン程度とみられる。
- この結果、欧米景気停滞や東アジアにおける競合の激化等、世界経済や輸出入の動向による下振れも見込まれるなか、2012年度の粗鋼生産は1億トン台を維持するものの前年度水準を下回る見通し。

以 上

